

兵庫版

尼崎市名神町1丁目9-1
 兵庫県借地借家人組合本部
 発行人 田中祥晃
 ☎06-6429-1500
 www.syakuya.com



毎月1回15日発行
 定価1部150円
 東京都新宿区新宿
 全国借地借家人
 組合連合会

組合員を減らさず着実に増やす組合に

組合づくりに

頑張りました



和田壽子さん

第26回総会を7月27日(土)に開催しますが、まず、兵借組が求められている課題は「減らさず・増やす組合づくり」です。

私達の組合が11年間増勢を続けられたその要因は、家主や地主から住み続ける権利を脅かされ、人間が生きてゆくためには大切な住まいを無くすことの不安からどうしたら良いのか、悩み抜いて、やっと友人や知人やネットを通じて組合を知り、問題を解決した組合員が、自分と同じ借地借家問題で困った人がいれば、自分が救われた経験を語り、今度は助ける側となり、組

合のことをもって知らせる宣伝活動に参加し、新聞を配ったり、組合費を集金したり、組織を守り発展に寄与する人が育ち、自覚を持って活動する人が数多く生まれてきたことが増える要因だと思います。

しかし、一年間の入会と退会の数字を見ると、入会者は82名で退会者は62名で実増は20名です。

その内訳は、退会者の内、組合員の死亡による人は18、75%、転居しての退会者は15、62%、合計34、37%で自己都合での退会者は65、63%、問題が解決したの退会しているの退会が一年間に自己退会した人が50名の人が退会しなければ、総会目標の400名達成できると、その

こで減らさず・増やす組合にするのとが、私達の組合に求められています。

私は本庁支部で20名程の組合員を担当し、新聞の配達や組合費の集金で組合員訪問を行い、悩みごとや組合に対しての要求を聞いたたりしています。

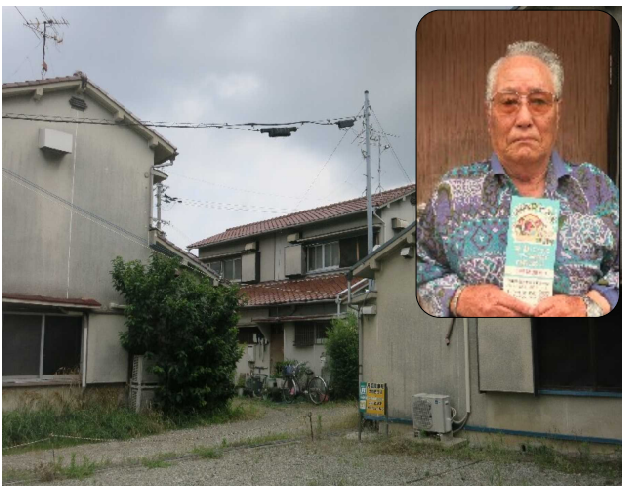
ですが、やはり問題が解決すれば、組合を辞めさせて下さいと言われることがあります。

辞めると言った組合員さんに、あなたが困った時、組合事務所があったから助かったんでしよう、組合が存続していたから困った人を救うことが出来るのです。

組合員がいなくなったら困った人が相談するところが無くなるでしょう、借地借家問題で困った人を助けるためにも、組合を続けて下さいと訴えることが大切です。

「減らさず・増やす組合づくり」に頑張りました

喫茶店に設置した組合のリーフから入会



リーフレットで組合を知り、相談員は仲介業者に電話で違法行為を認めさせ入会を決意した射場さん(写真)

兵借組6月度役員会の決定は、次期第26回総会を最高の組織

現勢で迎えることを決め、田中組合長が組合6月ニュース紙面で組合員に呼びかけました。

射場(伊丹市)さんは築50年の1棟2階建ての2戸1の1戸を借りています。

家主の知り合いの仲介業者から今年1月頃から立退きを言われ、本人は、建物は古いし、床も傷んでいるし、3棟3世帯の人も一人また一人退去を迫まれ、残ったのは私だけになり、退去しなければと思

らだち、40数年前からの友達の紀美子さんに相談。

塚本紀美子(ママ)さん夫妻は喫茶店を経営、妻は尼崎店、夫が伊丹店をその借家が昨年の大阪北部地震と台風で被災し、家主に修繕を求めましたが、修繕に応じずどうすればよいのか分からず、ママさんの知人の紹介で組合に相談。相談を聞いてくれる借家人組合を知り、こんな素晴らしい組合ならと、組合を紹介しているリーフレットをお客さんの目につく玄関入口に状差しに入れ、何時でも読んでもらえるように置いています。

射場さんはリーフレットをママさんから手渡され、ここに相談すればと紹介され、早速、組合に相談すると、立退きの「正当事由」がなく、仲介業者に非弁行為を認めさせ、立ち退き交渉をしないことを確認させ、明け渡し必要はなく、引き続き住めますよとの説明に納得して入会しました。